

E.FORUM 会員の皆様へ



京都大学大学院教育学研究科 教育実践コラボレーション・センター主催
2024 年度 E.FORUM 全国スクールリーダー育成研修

「第 20 回 実践交流会」のお知らせ

E.FORUM では、研修内容を活かした実践や研究開発に取り組んでおられる会員の方々にお集まりいただき、お互いの経験や計画を交流しながら新しい知見を生み出すことをめざしています。実践交流会では、会員の皆さまの各種実践資料（実践の成果や計画に関するもの）をお持ちよりいただき、グループに分かれて交流していただいています。午後には、デジタル技術の進展が社会における多様性をいかに支えるのか、ICT が様々な教育の場面でのどのような役割を果たしうるのかを検討するシンポジウムも開催いたします。

皆様、どうぞ奮ってご参加ください！

日 程：2025 年 3 月 23 日（日）

10:00～13:00 / 14:00～16:00

対 象：E.FORUM 会員 30 名程度

会 場：京都大学本部構内 総合研究 2 号館 第 1 講義室ほか

お弁当代：1,000 円

（ご希望の方のみ。体調不良の場合を除き、お弁当のキャンセルはご遠慮ください。）

お申込み：右上の QR コード、または下記のお申込みフォームよりお申込みください。

<https://forms.gle/RtaqzxdWC2Igewp6>

【申込締切】3 月 3 日（月） 但し、定員になり次第、締め切ります。

備 考：参加者の皆さまには、現在取り組んでおられる実践についての簡単な資料をご用意いただきます（他で発表された資料でも構いません）。詳細は次頁をご確認ください。

※当日、スクリーンに投影して発表されたい場合は、ノート PC をご持参ください（iPad の場合は、HDMI 変換アダプタもご持参ください）。また、学内のネットワークはご利用いただけませんので、インターネットへ接続をされたい場合は、モバイルルーターもご持参ください。

※当日は、グループ分けのため、お名前・ご所属・ご発表タイトルを記入したリストを作成・共有する予定です。ペンネーム使用・ご所属の匿名化（例、京大花子・公立小学校）の形でのご記載をご希望の場合は、お申込みフォームの要望欄にその旨ご記入ください。

※午後の公開シンポジウムのみにご参加希望の方は、別途開設しているシンポジウム専用お申込みフォームよりお申込みください。【申込締切】3 月 10 日（月） 但し、定員になり次第、締め切ります。詳細は、公開シンポジウムのチラシをご覧ください。



実践交流会の様子
（2024 年 3 月）

お問い合わせ先：

京都大学大学院教育学研究科 E.FORUM

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

e-mail: e-forum@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

（電話でのお問い合わせには対応していません。ご了承ください。）

実践交流会は、参加者の皆さまに現在取り組んでおられる実践についての簡単な資料をご用意いただき、お互いの経験を交流することを通して、明日の実践づくりに役立つ知見を得ることを目的とする会です。

<タイムスケジュール>

第 20 回 実践交流会	
9:30-10:00	受付 場所:本部構内 総合研究 2 号館 第 1 講義室
10:00-10:30	オープニング(グループ分け、参加者自己紹介) 会場:本部構内 総合研究 2 号館 第 1 講義室 司会:西岡加名恵(京都大学大学院教育学研究科・教授) 石井 英真(京都大学大学院教育学研究科・准教授) 奥村 好美(京都大学大学院教育学研究科・准教授)
10:30-13:00	実践交流タイム 会場:本部構内 総合研究 2 号館 演習室(地下) ※実践成果/実践計画の報告(15~20分)に必要な資料(A4判かA3判のもの)をご用意ください。3月6日(木)までに原版をお送りいただければ、E.FORUM事務局で印刷いたします(その場合、A4判8頁以内、またはA3判4頁以内でお願いいたします)。 ※直接ご持参いただける場合は、15部(グループ内配布用8部+スタッフ・事務局用7部)印刷してお持ちください(参加者全員への配付をご希望の場合は、事務局まで印刷部数をお問い合わせください。参加人数が確定する3月3日以降にお知らせいたします)。
13:00-14:00	休憩 ※ご希望の方には、お弁当(1,000円)を手配いたします。
13:30-14:00	シンポジウム受付 場所:本部構内 総合研究 8 号館 講義室 2
14:00-16:00	公開シンポジウム 「デジタル社会における多様性が尊重された学び——ICT×DE&Iの可能性」 会場:本部構内総合研究 8 号館 講義室 2



実践交流会 受付・オープニング
京都大学本部構内
総合研究 2 号館 第 1 講義室
※北側の入口からお入りください。

公開シンポジウム 受付会場
京都大学本部構内
総合研究 8 号館 講義室 2 (2 階)
※北側の外階段を上ってお入りください。

本研修会は、内閣府による SIP (戦略的イノベーション創造プログラム) の課題「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」における研究開発「真正で探究的な学びを実現する教育コンテンツと評価手法の開発」(研究開発責任者:松下佳代)の一環として開催いたします。



公開シンポジウム

デジタル社会における多様性が尊重された学び ——ICT×DE&Iの可能性——

現代社会では、デジタル技術の進展が教育現場に大きな変革をもたらしています。同時に、多様性 (Diversity)、公平性 (Equity)、包摂性 (Inclusion) (以下、DE&I) の重要性が注目される中、多様な背景や価値観を持つ人々を尊重し、平等な機会を提供し、誰もが受け入れられる環境を整えることが教育における喫緊の課題となっています。しかし、ICT を活用しながら、いかにして多様性を尊重する学びを実現するかについては、いまだ模索が続いている状況です。

そこで、教育方法学研究室では、内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) の一環として、国内外における探究学習およびデジタル・テクノロジーの活用に関する先進事例の調査や、教育現場が抱える多様なニーズ (DE&I の視点など) を踏まえた探究学習について研究を進めています。本シンポジウムでは、デジタル技術の進展が社会における多様性をいかに支えうるのか、ICT が様々な教育の場面でどのような役割を果たしうるのかを検討します。そのために、探究的な学びを支えるデータサイエンス教育の開発事例や、多言語・多文化な環境にある米国ハワイ州での探究的学習と ICT 活用の事例など、ICT と DE&I のかけ算によって生まれた先進的な実践例を共有します。こうした事例をもとにして、Society5.0 時代においてデジタル技術が多様性をどのように支え、学びを革新していくのかを議論します。

2025年3月23日(日)

14:00~16:00

(受付 13:30~)

会場：京都大学本部構内

総合研究8号館 講義室2

対象：学校の先生方、教育委員会の関係者、
教員志望の学生 (定員 80名程度)

参加費
無料

プログラム：

- 14:00-14:05 趣旨説明：石井英真 (京都大学大学院教育学研究科 准教授)
- 14:05-14:35 「米国ハワイ州における探究的な学習の諸相：ICT・DE&I・『場所に根ざした教育』の観点から」
岡村 亮佑 (京都大学大学院教育学研究科 博士後期課程3年)
田野 茜 (京都大学大学院教育学研究科 博士後期課程1年)
- 14:35-15:05 「デジタル社会における多様性の眼差し」
久富 望 (京都大学大学院教育学研究科 助教)
桑川 薫樹 (京都大学大学院教育学研究科 博士後期課程1年)

休憩 10分

- 15:15-15:25 指定討論：木村 裕 (花園大学文学部 教授)
- 15:25-15:55 フロアからの質疑応答・ディスカッション
- 15:55-16:00 まとめ

司会：石井英真 (京都大学大学院教育学研究科 准教授)

「米国ハワイ州における探究的な学習の諸相 : ICT・DE&I・『場所に根ざした教育』の観点から」

岡村亮佑

京都大学大学院教育学研究科博士後期課程 3 年・日本学術振興会特別研究員 (DC)。京都大学修士 (教育学)。専門分野は、教育方法学 (カリキュラム論・教師教育論)。探究学習のカリキュラム開発のあり方や様々な事例に関しても研究をしています。

田野 茜

京都大学大学院教育学研究科博士後期課程 1 年・日本学術振興会特別研究員 (DC)。京都大学修士 (教育学)。専門分野は、教育方法学 (多文化教育・日本語教育)。言語的・文化的に多様な背景を持つ学習者への教育について研究しています。

「デジタル社会における多様性の眼差し」

久富 望

京都大学大学院教育学研究科 助教 (情報担当)。高校・学習塾など 10 年以上勤務した経験を持つ。教育データ利活用を専門とし、情報学・教育学と教育現場を繋ぐ研究活動を行っています。

糸川薫樹

京都大学大学院教育学研究科博士後期課程 1 年・日本学術振興会特別研究員 (DC)。京都大学修士 (教育学)。専門分野は、教育方法学 (芸術教育・教育思想史・教育における ICT 活用)。主に 20 世紀ドイツにおける徒弟的な芸術教育の諸思想について研究するほか、探究学習・データサイエンスを主な対象としたカリキュラムとアプリケーションの開発を行っています。

指定討論者

木村 裕

花園大学文学部教授。京都大学博士 (教育学)。教育方法学を専門分野とし、持続可能な開発のための教育 (ESD) や開発教育などのカリキュラム開発や授業づくり、教育評価のあり方などに関する研究に取り組んでいます。

※本公開シンポジウムは、内閣府による SIP (戦略的イノベーション創造プログラム) の課題「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」における研究開発「真正で探究的な学びを実現する教育コンテンツと評価手法の開発」(研究開発責任者: 松下佳代) の一環として開催いたします。

アクセス :



受付会場

京都大学本部構内

総合研究 8 号館 講義室 2 (2 階)

※北側の外階段を上がってお入りください。

お申込フォーム :

<https://forms.gle/3USPhsIduXBsfeoP9>

右下の QR コードからもアクセスいただけます。

申込締切: 3 月 10 日 (月)、但し、定員になり次第締め切ります。

※なお、同日午前より開催している第 20 回実践交流会にお申込みされている E.FORUM 会員の方は、本シンポジウムへのお申込みは不要です (実践交流会のプログラムの中にシンポジウムを含んでいます)。



お問い合わせ

京都大学大学院教育学研究科 E.FORUM 事務局

e-forum@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp